



延岡市長

よみやま洋司

2019年新春号

～若さ・情熱・行動力新しい風がまちを変える～

よみやま洋司
後援会会員募集!!

〈公約の実現状況のご報告〉

よみやま洋司は市職員と一丸となって公約を次々に実現し始めています。以下、その一端をご紹介します。

1 市民の現金収入を増やす

(1) 地元企業や事業所を強力に応援

よみやま市長就任後、市独自の人手不足対策を実行するとともに、一定の条件を満たして生産性を計画的に向上させる地元企業の固定資産税を3年間ゼロにする新たな政策を実行しています。また中小企業の参入機会の拡大や、障がい福祉作業所の商品の市役所1階市民スペースでのアンテナショップ試行などにも取り組んでいます。



〔就労支援アンテナショップ〕

(2) 企業誘致などで市民の所得UP!

クレアパーク工業団地は2018年6月で完売しました。また延岡駅前に東京のITベンチャー企業が立地しました。市内大手企業も新工場を建設中です。

(3) 新たな観光振興策も次々に効果!

バス化構想を見直し、新たな観光誘客に予算を回した結果、初めての修学旅行誘致が実現しました(台湾の高校生です)。農家民泊の活用で地域も活性化。大河ドラマ「西郷どん」効果で観光客も増えています。



〔台湾の高校生の歓迎式〕

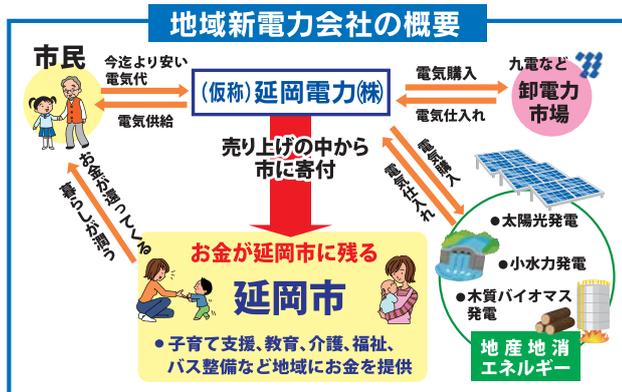
2 安く暮らせる延岡に変える

(1) こども医療費助成が一部、中3まで拡大!

2019年4月から歯科診療について、中学3年生まで月350円で治療が受けられることになりました。小児科・内科等についても、医療現場の実情を踏まえた形で医療費助成を中学3年生まで拡大できるよう医師会等と鋭意協議を行っています。

(2) 地域新電力会社の設立や、新型バス交通ネットワーク整備も進んでいます。

2018年に調査費を計上し、現在検討を進めています。新電力会社については2020年の早い時期の設立を目指しています。また新型バスネットワークについては、既に地域説明会を実施し、2019年中に市内数ヶ所での実証運行を目指しています。



3 攻めの第一次産業政策

(1) 畜産農家への支援を大幅に拡充、耕作放棄地対策にも!

JA延岡と連携し、2018年に畜産農家への支援を増やした結果、長年減り続けていた牛の飼育頭数が2018年に増加に転じました! 延岡家畜市場の牛の価格もずっと低迷していました(2017年は県内6市場の中で最低)が、2018年11月には県内トップ、全国第6位の価格にまでアップしました。飼料用稲の生産を通じ耕作放棄地対策にもなります。

(2) 延岡に東京等の大手商社等を招き、現地商談会を開催するなど販路拡大

バス化構想を見直し、東京等の大手商社や有名デパート、ホテル等を延岡に招いて現地商談会を開催するなど、農・林・水産物の販路拡大に取り組んでいます。

(3) 「所得アップ・ゴー・ゴー・テン」も進めています。

「経費を5%下げ、売上を5%伸ばし、トータルで所得を10%増やす」ためのアクションプランづくりと、その実行のための新規事業構築に取り組んでいます。



〔水産商談会の模様〕

4 東九州クロスポイント構想も着々と実現へ

延岡・熊本間の九州中央自動車道も日之影町内の一部区間が2018年11月に開通し、全体の30%が供用開始となりました。また延岡市と日向市が連携する中、延岡・日向両市の行政と民間が連携して細島港を九州全体の海の玄関にするための期成会が日向市で発足し、活動が始まりました。

5 アスリートタウンを再構築！

市民の利用をしっかりと確保することを前提に、新たに県体育館を市民体育館の敷地内に整備するよう県と協議した結果、メインアリーナとサブアリーナの2棟が整備される形で、現在検討が進められています。今後、全国大会や合宿などが延岡で数多く開催され、多くの人でにぎわう「スポーツのクロスポイント」のまちになります。

また2018年度中に西階陸上競技場の駐車場を80台程度増やすとともに、平常時は室内練習場になり得る防災用施設の整備も検討しています。

6 市民の暮らしを守る

(1) 「365日駆け込み寺づくり」も着々と進んでいます。

医療・介護・福祉に関する相談や、子育て・教育・いじめ不登校対策案に関する相談などにワンストップで対応する「何でも総合相談センターづくり」も着々と進めています。

市民や事業所のための「365日駆け込み寺」

ワンストップ何でも総合相談センター



(2) まちなかを「生活と仕事の拠点」にし「新型病院構想」にも取り組んでいます。

延岡駅西口に(株)まちづくり延岡が整備する再開発ビルの中に、小児科等の病院や病児または病後児保育、保育専門学校、IT企業などを誘致すべく取り組んでいます。

(3) 防災・減災対策

道幅が狭い道路でも部分的に救急車等の進入・駐車スペースを確保するための新規事業を現在検討中です。北川の新たな水害対策にも着手しました。



7 市民目線改革もフル回転

(1) エンクロスの検証

1億3,500万円かかる運営経費の費用対効果を検証し、まちなか全体がにぎわう政策に見直すべく現在検討・協議を進めています。

(2) 内藤記念館再整備事業の見直し

当初計画を見直し、もっと延岡産の木材を使うとともに、バリアフリーのためのエレベーター設置、城下町・延岡の歴史を外観を通して伝えるよう和室棟や外構工事の見直しなどに取り組んでいます。

(3) バス化構想の見直し

もっと延岡全体が豊かになるために事業を見直し、台湾の高校生の修学旅行誘致、東京等の水産会社等との商談会、農業振興のためのハウス施設整備支援などを実現しています。

(4) 情報公開・市民参加の促進

建物の整備、学校エアコン整備など、大きな予算を必要とする事業について、完成後の毎年の運営経費の見込額も含めて案の段階で公表し、広く意見を募り、それを最大限反映する取組みを早速実行に移しています。「情報公開・市民参加条例」の制定も検討しています。

(5) 水道事業に国の支援策を導入

「水道料金を上げる前に、水道施設の耐震化等に対する国の支援策を最大限活用する」と主張してきましたが、2月の市議会で否決されてしまいました。しかしそれでもあきらめことなく国の支援策活用を検討し、6月の市議会で国の支援策を約1億円活用する予算案を提案し可決されました。今後も国の支援策を最大限活用し、その結果水道料金の引下げが可能になれば、再度引下げにチャレンジします。



【対話重視の「市民目線改革」実施中】

(6) 「移動市役所」や「出前市長室～はよ来ね！市長～」もフル稼働

市民の皆様のお声をしっかりと聴きし、「現場主義の市政」に変えていくために「移動市役所」や「出前市長室～はよ来ね！市長～」も次々に開催し、曜日や昼夜を問わず市民の皆様としっかりと対話をしています。

.....
上記はあくまでも一例に過ぎません。よみやま洋司は「市民目線改革」を今後もどんどん進めます。職員も燃えています。ふるさと納税も2018年11月で対前年208%とアップ！引き続きご支援を宜しくお願い申し上げます。

【よみやま洋司の略歴】

地方も国も世界も知り、官も民も知る、若い力！

昭和39年生まれ 緑小・南中出身
昭和61年東京大学経済学部卒業 同年自治省（現在の総務省）入省。
内閣参事官、岡山市副市長、国連コンサルタントなどを歴任。
平成24年に退官。延岡に帰郷し子育て支援会社（こどもーる）設立、
長崎県立大学教授や行政書士も兼務。平成30年延岡市長就任。

よみやま洋司後援会事務所

〒882-0026 宮崎県延岡市柚の木田町1307
【TEL】0982-27-5509 【FAX】0982-27-5584
E-mail:yomiyamayoji.jimusyo@gmail.com
http://www.yomiyama-yoji.jp

